

令和3年度 第4回 埼玉支部評議会 議事概要

開催日	令和3年12月13日(月) 15:00~16:30
開催場所	東天紅 東天の間 (JACK 大宮 18階)
出席評議員	石井評議員、遠藤評議員、甲原評議員、小林評議員、齋藤評議員、須藤評議員、中川評議員、原評議員、牧評議員 (五十音順)
議題	<p>1. 報告事項</p> <p>① 令和4年度全国健康保険協会事業計画(案)及び令和4年度埼玉支部事業計画(案)について</p> <p>② 令和4年度保険料率について</p> <p>③ インセンティブ制度の見直しについて</p> <p>④ 健康経営推進の取組み及び第2期埼玉支部データヘルス計画の実施状況について</p> <p>2. その他(事務連絡・広報関係視聴(テレビ動画、ラジオ)等)</p>

議 事 概 要
<p>①令和4年度全国健康保険協会事業計画(案)及び令和4年度埼玉支部事業計画(案)について 〔事務局より説明〕資料に基づき説明を行った。</p> <p>【学識経験者】 令和4年度の埼玉支部の事業計画案の組織・運営体制の項目に関して、意見を申し上げる。令和5年1月の業務・システム刷新により、データ管理を含めてデジタル化を進めていく中で、コンプライアンス、情報漏洩リスクは高まっていく。一度事故が起こるとレピュテーションリスクが大きいので、リスク管理体制の構築は、「引き続き」ではなく「一層」と表現した方が良いのではないかと。ワーディングの問題だが、デジタル化の推進とともに、コンプライアンスやデータ流出、そのあたりのリスクも考慮し、「一層強化」等としてはどうか。</p> <p>【事務局】 リスク管理について、基本的にしっかりやろうと考えているが、ご指摘のとおり令和5年1月を見据えた場合に「一層」という表現が相応しいと思う。組織・運営体制の項目の中で反映させていきたい。</p> <p>【事業主代表】 健全な財政運営とは、赤字構造という構造的な課題も解決しながらという意味も含まれているのか、構造的な課題は致し方ないという前提に立ってのものなのか。</p> <p>【事務局】 賃金に関しては協会では変化させることはできないが、医療費に関しては医療費の適正化等を通じて財政の健全化を図っていきたくと考えている。先ほどレセプト審査の強化というものが説明したが、柔整も含めて、保険適用の範囲内なのか等をしっかりチェックしていきたい。また、ジェネリック医薬品へもなるべくシフトしていただく。そのような取組を通じ</p>

て医療費の適正化を図りたい。

【事業主代表】

医療費と賃金に関して、直接関わるができないかもしれないが、現状を踏まえて国に訴願する仕組みはないのか。

【事務局】

協会として要望は随時行っている。各医療保険者と連携して行うこともあるし、経済団体と連携することもある。10年ほど前は財政が厳しい状況になっていて、全国大会や都道府県ごとの支部別大会を開催し、署名活動等も行っていた。現在は、赤字にはなっていないこともあって、そこまではやっていないが、例えば後期高齢者支援金に関しても制度改正の要望は随時行っていて、現在は仕組みが少しずつ変わってきたところ。

【事業主代表】

少し細くなるが、昨年度の事業計画との比較で消されている項目もいくつかある。これらの事業は、実施したが効果が無かった、実施できなかった、発展的解消等と様々な意味があると思うが、実施しなくなった理由等をいくつか教示いただきたい。

【事務局】

ご指摘のとおり、様々な理由がある。例えば冒頭の頁では窓口体制の適正化等として「年金事務所に設置した協会窓口について見直しを行う」と記述されていたが、今年度、残っていた5か所全て閉鎖したので、4年度の事業計画ではこの記述を消している。そのほかにも計画の構成も見直し内容を統合したところや事業の中身もコロナ等の様々な状況を踏まえてマイナーチェンジした部分もある。3年間の中期計画であるアクションプランも踏まえた中で、毎年調整をしながら事業計画を見直している。

【学識経験者】

仰るとおり、3年間のアクションプランを決めたからやるということじゃなく、社会情勢や経済活動が変化する中で、一番合ったものを、最適な事業を進めていただきたい。

②令和4年度保険料率について

〔事務局より説明〕資料に基づき説明を行った。

【事業主代表】

細かい質問になるが、平均保険料率10%を維持するべきという支部評議会が昨年と変わらず31支部ある。この支部評議会は昨年とは異なるのか。微妙な動きはあるのか。

【事務局】

支部評議会の意見も昨年と全く同じではなく、意見の微妙な動きはある。都道府県単位保険料率が一番高い支部評議会などは、一貫して「引き下げるべき」という意見を出している一方、そこまでの強い意見ではない支部評議会は、評議員の意見とか評議会の雰囲気とかも変わってくることもあるので、多少の動きはある。ただ、全体的な印象としては、大部分は変わっていない。

【事業主代表】

準備金については一定程度確保できており、運営委員会でも保健事業の充実を考えていくという議論があったことは、非常に良いと思う。平均保険料率10%を維持するべきとした評議会は、将来の平均保険料率の上昇リスクを少しでも緩和したいという意見だと思うので、準備金が潤沢にあるから、何かの事業に使ってしまおうということではなく、将来的な効果が見込める事業に特化してやるべきと感じた。

【事務局】

埼玉支部としても、準備金等を活用して、予防に関し推進を図っていただきたいと意見を提出してきたが、本部、運営委員会においては、疾病予防、保健に関する事業を充実させていくというのが基本的な議論と理解している。今週金曜日にも運営委員会が開催され、4年度平均保険料率の結論と保健事業の充実に関するメニューが示されるのではないかと思いますので、次回の評議会でご報告させていただきたい。

【学識経験者】

準備金を踏まえた事業等のオプションについて、我々の意見を今後どこかのタイミングで発信する機会はあるのか。今後の支部評議会の議題等に入れて、意見を出していきたい。

【事務局】

本部から意見を求められるケースもあるが、評議会を開催して支部としてこういう意見だというのは随時本部に伝えることはできる。検討したい。

③インセンティブ制度の見直しについて

〔事務局より説明〕資料に基づき説明を行った。

【事業主代表】

試算では埼玉支部は最下位だが、理由は何か。

【事務局】

偏差値で健診受診率が45位、保健指導実施率が47位という状況。ここは従来から埼玉支部が弱い部分で、健診時に保健指導も同時にやっていくとか、保健指導ができない健診機関であれば、協会の保健師が出向く等、何とか対応していきたい。それから事業者健診データの収集にも力を入れていきたい。また、受診勧奨に関しても健診直後に行う0次勧奨を行う

等、インセンティブの評価項目に対する対応策は令和4年度の事業計画にも盛り込んでしっかりやっていきたい。なお、今後は評価の方向も変わりそうなので、最下位にはならないとは考えている。

【事業主代表】

被保険者数に比べて健診機関が少ないとか、大都市圏ではそのような傾向があるのか。大阪や愛知を確認しても順位は低いので構造的な問題があるのではないかと考えている。

【事務局】

近年の動向としては健保組合の解散等により、大都市圏で加入者が増えている。健診受診率等の計算の分母の増加が著しく、その影響は大きい。そのような状況においても、インセンティブの順位に現れない実質的なところでしっかりやっていきたいと思っている。この順位については、評価方法に影響されている部分もかなり大きいと考えている。

④健康経営推進の取組み及び第2期埼玉支部データヘルス計画の実施状況について

〔事務局より説明〕資料に基づき説明を行った

【事業主代表】

健康経営に関する取組を推進するには費用も必要。健康経営埼玉推進協議会の民間企業の協力事業者については、何か費用を支払い、健康経営のフォローアップ等を進めていただいているのか。

【事務局】

健康宣言事業所が増加していくと、とても埼玉支部の体制ではサポートできないので、企業との関わりのある金融機関等に協力事業者として協力いただいている。協力事業者は営利企業が殆どだが、営利目的で協力しないよう覚書も締結しており、何かこちらから費用を支払いながらやっていくという位置づけではなくて、こちらからの頼み事の方が多く、我々にサポートしていただいている協力企業というふうにご理解いただきたい。なお、先般のウォーキング大会には賞品の提供もいただいている。健康経営埼玉推進協議会の事務局は埼玉支部であり、基金等で資金を確保して運営したいところであるが、協会でそのような仕組みができないので、このような仕組みで事業を進めている。

【事業主代表】

先般のウォーキング大会、健康経営埼玉推進協議会の主催であったが社内的にも盛り上がった。集合して実施する大会ではないので、今の社会情勢にうってつけの大きな大会だったと思う。毎年恒例という形で秋の運動しやすい時期に定例化するともっと参加企業も増えるし、引き続き企業間で順位を競うということで盛り上がっていけば、それなりの成果もあると思う。

2. その他
特になし

特記事項

・ 次回第 5 回目の評議会は 1 月に開催予定